**第146回京都CSR研究会ご案内の件**

**京都ＣＳＲ研究会メンバー各位　　　　　　　　　 2017年5月12日**

**京都CSR研究会事務局**

**前略。暦の上では立夏が過ぎ、京都もかなり暑い日々が続いていますが、皆様お変わりございませんか。さて、今月の京都ＣＳＲ研究会では、仙台に拠点を置く河北新報社の報道部取材班・氏家記者にお越しいただき、震災後の復興において企業が果たした様々な事例について、お話を頂く機会を得ることと致したく存じます。氏家さんは米国ニューオリーンズ（2005　ハリケーン・カトリーナ被災地）を先日取材されたばかりであり、当地の復興状況についてのホットなお話も併せてお話いただける予定です。**

**昨今、南海トラフのリスクについても警鐘が鳴らされていることはご高承のとおりです。震災や災害関連における企業の役割やアプローチはＢＣＰにとどまらず、様々なユニークな事例があろうかと思われます。今回のお話はそのような意味でも大変参考になると同時に、さまざまな可能性について議論できる場となると思われますので、企業、ＮＰＯの皆様に限らず、学生さん、本研究会ご出身の皆様には、こぞってご参加いただければ幸いです。またこのテーマにご関心のあるお知り合いのみなさまにはどうぞご遠慮なくお声がけいただければありがたく存じます。**

　　　　　　　　　　　　　　　　　**記**

**１．日時；　2017年5月26日（金）　　18時半～**

**２．場所：　京都キャンパスプラザ　二階　第二会議室**

**３．テーマ：「災害と企業のかかわりについて～取材の中からの発見」〔仮）**

**スピーカー：河北新報社 報道部企画取材班・記者 氏家清志氏**

**京都ＣＳＲ研究会は自由に飲食しながら、講師のお話を聞き議論をするいわゆる「ブラウンバッグ方式」を取ってきております。席上、簡単なお飲み物、茶菓を用意いたしておりますが、お弁当など自由にお持込ください。また、運営費として受付にてワンコイン500円を申し受けておりますので、ご容赦ください。**

**敬具**